

福祉環境委員会 実地視察報告

令和4年11月21日（月曜）、ドナルド・マクドナルド・ハウス神戸及び神戸医療福祉センター ひだまりを視察しました。

ドナルド・マクドナルド・ハウス神戸は、県立こども病院に入院または通院中の20歳未満の患者と付き添い家族を対象とした滞在施設として、公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン（東京都）により、2016年（平成28年）5月に開設されました。

財団のミッションである「患者と家族のためのハウス建設・運営」「ボランティア文化の構築」「医療を社会で支える仕組み作り」を目指して、神戸ハウスは、専属スタッフのほか、100名を超えるボランティアと寄付によって運営されています。

神戸ハウスは、リビングやキッチン・ダイニング、ランドリールームなどを備え、利用者が家族一緒に時間を過ごすことができ、少しでも日常生活に近い状況になるように配慮がなされています。



神戸医療福祉センター ひだまりは、重症心身障害児者支援推進の一環として、2019年（令和元年）7月に社会福祉法人芳友（ほうゆう）と神戸市との間で締結された重症心身障害児者に対する支援に関する協定に基づき、神戸市が旧神戸市立老人健康センターのスペースを改修・整備し、同法人が医療型障害児入所施設、療養介護事業所及び短期入所事業として運営される形式を採り、2022年（令和4年）4月に開設されました。

ひだまりの開設前は、同種の施設は市内に、神戸医療福祉センター にこここハウス（神戸市北区）のみであり、常に満床で待機者の約7割は市外の施設を利用している状況でした。

ひだまりは、多職種のスタッフが連携し、慢性期医療から生活介護まで万全のケアを提供できるよう運営されています。



※撮影時のみマスクを外しています。